

令和6年度ケア従事者のための元気のできる心理学講座 実施要項
～メンタルタフネス研修～

1 目 的	<p>利用者のみならず支援者自身も元気であることが、対人援助サービスには大切です。そのためには、対人援助サービスに伴うストレスに、「折れない心」で自分を理解し、自分を上手に表現し、他者との連携を図ることが求められます。</p> <p>対人援助職のためのコミュニケーションスキルを磨き、自己理解と自己成長につなげることを目的に開催します。</p>
2 研修形態	<p>集合型研修 ※研修日程のとおり</p>
3 開催日時	<p>令和6年9月19日（木） 9：50～16：00（5時間）</p> <p>※受付開始は9：20～</p>
4 開催場所	<p>セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 大研修室 （水戸市千波町1918）</p>
5 対象者	<p>社会福祉施設・事業所等に勤務する職員 【定員】96名</p> <p>※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）</p>
6 受講料等	<p>県社協会員1人あたり 3,000円（税込・資料代を含む）</p> <p>県社協非会員1人あたり 5,000円（税込・資料代を含む）</p> <p>※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、振込期限までに必ずお振込みください。</p>
7 申込方法	<p>研修システムにより、お申込ください。</p> <p>※申込された方は、申込締切後「承認通知」をメールで送付します。</p>
8 申込期間	<p>令和6年7月18日（木）～令和6年8月26日（月）まで</p>
9 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、研修システムで変更してください。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料に関するポリシーについて」をご確認ください。（代理の方の出席をお勧めします。）</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 開催方法などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。 ⇒掲載場所⇒茨城県社会福祉協議会研修システムページ (https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ <u>資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、資料等の無断転用は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。</u></p> <p>⑥ 昼食はご自身でご用意ください。研修室内のみ飲食可能です。</p>
10 修了証	<p>受講者は、研修アンケートを期限までに提出してください。</p> <p>アンケート提出後、「研修システムマニュアル Ver.10」のP32もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照のうえ、修了証をダウンロードしてください。</p>
11 問合せ先	<p>社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（仲田・大谷）</p> <p>TEL：029-244-3755</p> <p>E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp</p>

研 修 日 程

【集合型研修】 9月19日（木）

日 時	研修科目	ねらい
9:20～ 9:50	受 付	
9:50～10:00	開講／挨拶・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習「対人援助職のためのコミュニケーション」 ①自分のメンタルの現在地 ②ストレスとレジリエンス（復元力）	自分の強みと弱みに気づき、考え方や、行動を改善する手法を学ぶ。 利用者等他者を理解する際に、その人全体をとらえる視点を養う。コミュニケーションの方法を学び、自己表現の仕方やコミュニケーションスキルを学ぶ。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	－午前の子続き－ ③他者援助を通じた自己実現 ④コミュニケーション演習 ⑤バーンアウト（燃え尽き症候群）にならないために ⑥折れない心の条件 まとめ・質疑応答	
16:00	閉 講	

※研修内容は予定であり、変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【講 師】

日本ケア・カウンセリング協会 代表理事 品川 ^{ひろし} 博二 氏（臨床心理士）

臨床心理士、公認心理師。専門は、ターミナル・ケアおよび生活習慣病における、認知行動療法とナラティブ・アプローチとしての「行動形成法」（認知と行動の集団変容法）の実践研究。早稲田大学卒業後、東京教育大学（現、筑波大学）教育相談研究所にて臨床研修を修了。千葉県・磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年内閣府認証・特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会を創立、同代表理事。これまでに東京学芸大学、目白大学大学院、聖路加国際病院精神腫瘍科、千葉県医療技術大学校の講師を歴任、また横浜地裁の精神鑑定人（心理分析）も務めた。現在、札幌学院大学社会連携センター講師。日本カウンセリング学会・日本行動療法学会所属。また東日本大震災の復興に向けて、「もりおか復興支援センター」等への心理援助プログラムを実施した。（日本財団・三菱商事助成事業）。

【研修資料と研修後のアンケート提出】

研修資料	当日配布します。 ※他者へ資料を転送しないようにお願いします。
アンケート (レポート)	<u>受講した職員 ID とパスワードで研修システムにログインし、回答してください。「研修システムマニュアル Ver. 10」の p32 もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照してください。</u> 修了証を希望する方は、9月30日（月）までに、アンケートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行ができませんので予めご了承ください。

ーケア・カウンセラー資格取得についてー

茨城県社会福祉協議会（以下、県社協と言う。）が開催するこの研修は、特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会（以下、協会と言う。）主催の「ケア・カウンセラー養成講座」と連携しており、本研修の修了により、資格取得に必要な単位のうち、**5単位**が取得できます。

***ケア・カウンセラー4級及び3級の資格取得には、県社協主催のケア・カウンセラー資格取得対象研修を修了し、下記の単位数を取得すれば、筆記試験を受けずに登録が認められます。**

***ケア・カウンセラー4級⇒25単位（時間）受講**

ケア・カウンセラー3級⇒48単位（時間）受講

***「ケア・カウンセラー」は協会の任用資格の為、資格登録には日本ケア・カウンセリング協会に入会する必要があります。（ケア・カウンセラー登録は本人の任意です）。**

***「ケア・カウンセラー」の名称は特許庁に登録されています（商標登録法）。**

***修了証は、研修アンケートを期限までに提出した者に発行します。**

***県社協で受講された方の出席・単位等の管理は県社協です。（それ以外の講座の管理はその講座の主催者になります。）**

「ケア・カウンセラー」についてのお問い合わせは、メールで日本ケア・カウンセリング協会へ

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山942

<http://www.npojcca.org> e-mail: npo-jcca@npojcca.org